

LHC-ATLAS 実験における近接ミュオン対トリガー L2InsideOut の性能評価

Monday 19 February 2024 21:50 (10 minutes)

本研究では Run3 で導入された L2InsideOut の評価をおこなった。Run2 までの ATLAS ソフトウェアトリガーは検出器内で交差するミュオンの再構成を苦手としていた。これは外側の検出器を元に飛跡を再構成するアルゴリズムに起因しており、B の物理において不利であった。そこで、Run3 から内側から外側の検出器に向けて飛跡を再構成する L2InsideOut が導入された。この L2InsideOut のモニタリングシステムの問題点を修正し、評価を行った。

Presenter: 石川諒 (東京工業大学)

Session Classification: ポスターセッション (Poster Session)